

木の鼓動と精霊

むらかみよしこタペストリー展



会期 2020年 3月1日(日)~5月31日(日)

“私たちの心の奥底には太古の記憶が眠っている。生命を生み出した海の記憶と、大きな木々の繁る森に抱かれていた生命の記憶と。だから夜の夢の中に届く遠い海鳴りの音は懐かしく、また見失った道の途中でも木々の森に思いをはせると大地との揺るぎない絆をとり戻し自分の根源に立ちかえることができる。森の木には精霊が宿っている。木の精霊は生命を循環させていのちの森をつくり、また命の種を遠くまで運ばせる。木に抱きついて木の内なる鼓動、水の流れを感じてみる。葉っぱのささやき、光や風との会話にそっと耳をかたむけてみる”——何億年も前の太古の森、そして長い時をかけて地球を多様な命満ちる緑の星へと変貌させていった木々へ憧憬と賛歌がこの作品には込められている。文明による森林破壊、気候変動がもたらす森林火災・消失を憂い、森の精霊の復活を祈って。どうぞご覧ください。(むらかみよしこ)

——作品『木の鼓動と精霊』(羊毛手紡ぎ・草木染・手織作品250×280cm)

【開館時間】午前9:30～午後5:00
【休館日】月曜(祝日は開館・翌火曜休館)
【観覧料】一般400円/高校生200円
【アクセス】岡山から車で約90分
岡山空港から車で約70分
賀陽ICから車で約45分
新見ICから車で約30分
井倉駅からタクシーで約15分
方谷駅からタクシーで約10分

**猪風来美術館**
新見市法曾陶芸館

〒719-2552 岡山県新見市法曾609

TEL・FAX 0867-75-2444

<http://www.ifurai.jp/>

縄文野焼き技法の第一人者であり、現代縄文アートの創始者として知られる造形作家・猪風来(いふうらい)。猪風来美術館(新見市法曾陶芸館)では縄文野焼き作品、法曾焼、絵画など、独自の縄文スパイラル造形による猪風来作品をはじめとした二百数十点を常設展示しております。

